

再び戦争を起こさないために

千代田区

平和(戦跡)マップ

こくさいへいわとしちょだくせんげん 国際平和都市千代田区宣言

地球は 生命が息づく かけがえのない星 この地球を 平和と希望にみちた 輝く星にしよう

過去私たちは 戦争を経験した 多くの人びとが傷つき 犠牲となった 二度と戦争が起こることのないように かたく誓い いつまでも 後世に伝えていこう

現在 世界の各地で まだ争いがある 飢えで 苦しんでいる人びとがいる 地球環境の破壊が つづいている やはもう自分だけの平和と安全を 考える時代ではない

国際都市千代田区に住み 働き 学ぶ私たちは 世界の人びとと 連帯して 核兵器をなくし 平和な世界を築きあげよう

未来に向かって 世界の人びとと 友好を深め 同じ地球の仲間として お互いを理解しあおう

私たちは 世界の恒久平和を 実現するために 積極的に 行動することを ここに宣言する

平成7年3月15日

東京都千代田区

発 行 日: 平成 19 年 8 月 発 行: 千代田区国際平和·男女平等人権課 千代田区九段南 1-2-1 TEL: 03-3264-2111 (代表) 編集協力: 千代田区 平和使節団 団員連絡会

監修:千代田区立四番町歴史民俗資料館

幸 代 節 玄

←千代田区平和祈念モニュメント (表紙)

「国際平和都市千代田区宣言」を永続的に記念し、その精神を広く訴えるため、平成9年3月「平和祈念モミニュメント」を設置しました。(千代田区役所前に設置されています)

1. 大手門の鯱

大手筒を入り左換に鯱があります。説前文によると「昭和20年(1945年)4月、戦災で焼失した間大手門渡櫓の屋根に飾られていた鯱です」と書かれています。前暦の大人(1657年)で焼失した後に大手門再達の時にこの鯱は制作されたと推定されます。350年も前の歴史的建造物が太平洋戦争で失われてしまったのです。今の大手門渡櫓は、昭和43年(1968年)に再建されたものです。



メモ

2. 第一生命館

昭和13年(1938年)に建てられたビルです。敗戦後昭和20年9月から昭和27年(1952年)4月までの7年間、連合国軍最高司令管総司令部(GHQ)に接収されていました。6階にはマッカーサー売帥のオフィスがあり、境をもそのままに保存されています。(現在は

非っす22点昭こるいーと場り公介)の7ヵ和のビてサ会所またい。年、天然第ルマー見です。といい昭9日。皇前にッ元しも。なま。和月にが、生態力が加たあなま。和月にが、生態力が加たあ



ながたちょう かすみがせき ひびゃいったい 3. 永田町・霞が関・日比谷一帯

皇居を取りまくこの一帯は、陸軍の中心施設が集中し、また現農林水産省には海軍省が遭かれていました。戦争末期には、皇居周辺の土手や皇居前広場、日比谷公園は高射砲陣地となり、要所のビル屋上にも高射砲・機関銃が据え付けられ、日劇では、勤労動員の女子学生によって風船爆弾の組み立てが行われていました。また国会議事堂と議員会館周辺では、政府首脳や議員のための「中央防空壕」工事が進められ、その一部が1995年7月議員会館駐車場工事の際に確認されています。



みゃけざか こっかいぜんていようしきこうえん 4. 三宅坂・国会前庭洋式公園

明治以降終戦まで、陸軍省や参謀本部が置かれていました。公園からは皇居・丸の内・震が関一帯が一望でき、軍事要衝としての位置を実感できます。敷地内には日本の土地標高水準を決める「日本水準原点」が現存します。陸軍参謀本部陸地測量部が行った国土測量の基準点を定めたもので、地勢をめぐる情報が軍事機密に属していたことも示しています。



ひらかわてんまんぐう とりい こまいぬ **5. 平河天満宮、鳥居の狛犬**

整節、蒸笛節、集管節に囲まれた空河節の名前は、この平河天満宮に歯楽します。太田道灌江戸城拡張の際に現在の場所へ移転しました。平河天満宮の鳥居は、江戸末期に造られた最も古い鳥居のひとつとされています(千代田区内最古の鳥居)。その鳥居の支柱にある獅子の像のあたりに、空襲の際に受けたと思われる弾痕や焼け焦げた跡が残っています。



